

信州エコポスターコンクール 2026 選考結果

〈小学生・低学年の部〉

最優秀賞

No.29(部門別 No.10)

宮岡 紗冬 (みやおか さと)さん

松本市立開明小学校 3 年



【作品に込めた思い】

クマや鹿などの動物が人間のいるところに出てきてしまって、そのまま殺されてしまうことを知りました。クマやシカのエサとなる緑がなくなっているせいだと知り、みんなで仲良く生きられる地球になってほしいと思って描きました。

【講評】ヤボンスキーこばやし画伯 審査員

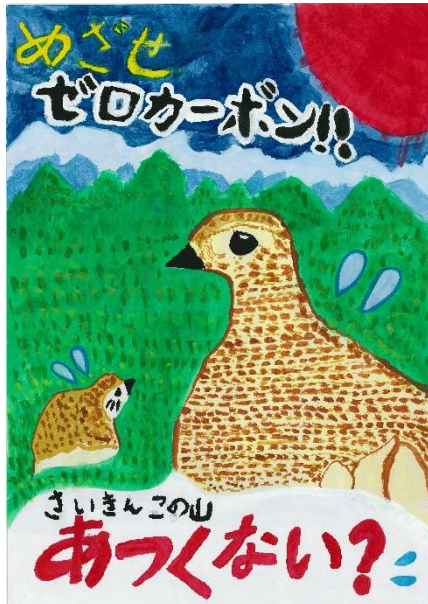
今回もレベルの高い作品が多く、どの作品を最優秀賞に選ぶか意見が割れました。この作品は、細かいところまで丁寧に描いています。「地球を守ろう！プロジェクト」の名の通り、家族が立っている場所が地球で、自然をバックにした構図も素晴らしい。小学3年生が一生懸命描いてくれました。

優秀賞

No.2(部門別 No.2)

村田 菜月 (むらた なつき)さん

佐久市立佐久平浅間小学校 2年



【作品に込めた思い】

最近長野県の山も前より暑くてライチョウが全滅しそうだと知りました。資源を大切にしてゼロカーボンを目指して、ライチョウがこれからも元気だと嬉しいです。

【講評】大塚 孝一 審査員

色使いもはっきりしていて、メッセージも非常に分かりやすい。温暖化を象徴している良いメッセージになっています。最近、ライチョウも暑さで大変なことになっていると思いますが、これからもライチョウが安全に住み続けられる地球になってほしいと感じさせるポスターです。

協賛社賞

No.1(部門別 No.1)

関野 莉央花 (せきの りおか)さん

佐久市立佐久平浅間小学校 2年



【作品に込めた思い】

何年経っても、きれいな地球であってほしいという思いを込めました。

入 選

No.24(部門別 No.9)

田澤 滯 (たざわ みお)さん

飯田市立千代小学校 3年



No.16(部門別 No.7)

青木 柚子 (あおき ゆず)さん

富士見町立富士見小学校 3年



No.44(部門別 No.13)

矢島 叶愛 (やじま とあ)さん

飯綱町立牟礼小学校 3年



No.9(部門別 No.5)

岡田 文音(おかだ あやね)さん

上田市立神川小学校 3年



No.15(部門別 No.6)

加々見 健太(かがみ けんた)さん

諏訪市立湖南小学校 3年



No.3(部門別 No.3)

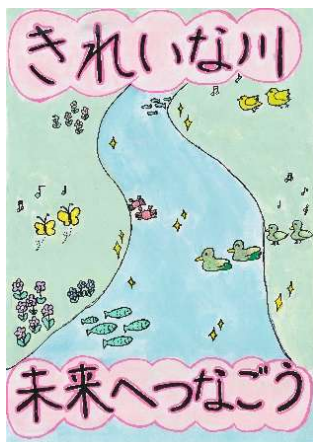
田中 さら(たなか さら)さん

軽井沢町立軽井沢中部小学校 3年



No.31(部門別 No.12)

氣賀澤 愛莉(けがさわ あいり)さん
松本市立田川小学校 3年



No.21(部門別 No8)

新井 沙奈(あらい さな)さん
駒ヶ根市立東伊那小学校 2年



No.30(部門別 No.11)

岡村 美乃梨(おかむら みのり)さん
松本市立開明小学校 3年



No.8(部門別 No4)

安里 美彩(あさと みあ)さん
東御市立祢津小学校 3年



信州エコポスターコンクール 2026

選考結果

〈小学生・高学年の部〉

最優秀賞

No.33(部門別 No.11)

松浦 歩優 (まつうら ふゆ)さん

松本市立筑摩小学校 5年



【作品に込めた思い】

まだ食べられる食べ物を捨てないでほしいという思い(あまり食べられない国があるから)

【講評】上島 史子 審査員長

私たちはゴミを荒らすカラスを嫌うけれど、このポスターでは、そのカラスから「捨てちゃうの?」と問いかけています。とてもドキッとするテーマです。カラスやゴミ一つ一つの質感まで丁寧に描かれ、「捨てちゃうの?」というコピーも含め、インパクトがとても強い作品になっています。さらに、実際に私たちはどうしたらいいのか、「地球のルール」まで丁寧に書き込まれていて、本当に力のある作品だと感じました。

優秀賞

No.32(部門別 No.10)

柳原 美日 (やなぎはら みはる)さん

松本市立筑摩小学校 5年



【作品に込めた思い】

言葉に合わせてインパクトを残せるようにゴミが泣いている様子を描きました。込めた思いは「まだ使えるのに、ポイ捨てをしないで」や「リサイクルをして未来につなげよう」という思いを込めました。

【講評】常田浩二 審査員

たくさんのゴミたちが描かれ、ゴミたちが泣いている表情から「まだ使ってほしい」そんな強い気持ちがよく伝わってきました。また、泣いている表情と反して、全体的には明るい色合いでまとめられていて、前向きな気持ちでエコを大切にしようという気持ちになる作品です。

協賛社賞

No.18(部門別 No.6)

山田 彩梅 (やまだ あやめ)さん

富士見町立富士見小学校 6年



【作品に込めた思い】

私たちが住んでいるこのふるさとには、いろんな生き物と植物があり、美しい自然にあふれています。いつまでもこのきれいなふるさとを笑顔で、みんなで、できることを考え、未来につなげたいと思い、この作品に込めました。

入 選

No.36(部門別 No.14)

内山 陽南子(うちやま ひなこ)さん
松本市立開明小学校 6年



No.53(部門別 No.23)

大塚 柚奈(おおつか ゆずな)さん
千曲市立屋代小学校 6年



No.10(部門別 No.2)

山崎 湊介(やまざき そうすけ)さん
上田市立塩尻小学校 5年



No.25(部門別 No.8)

樋口 愛依(ひぐち あい)さん
飯田市立浜井場小学校 6年



No.4(部門別 No.1)

吉村 伊吹樹(よしむら いぶき)さん
小諸市立野岸小学校 5年



No.57(部門別 No.27)

井上 竣介(いのうえ しゅんすけ)さん
長野市立古牧小学校 5年



No.60(部門別 No.29)

松本 詩依(まつもと しい)さん

飯山市立飯山小学校 4年



No.55(部門別 No.25)

小川 純(おがわ じゅん)さん

千曲市立屋代小学校 6年



No.12(部門別 No.4)

田口 凜(たぐち りん)さん

東御市立滋野小学校 5年



No.35(部門別 No.13)

林 翔和(はやし とわ)さん

松本市立開明小学校 5年



信州エコポスターコンクール 2026

選考結果

〈中学生の部〉

最優秀賞

No.10(部門別 No.6)

武井 香凜 (たけい かりん)さん

岡谷市立岡谷東部中学校 3年



【作品に込めた思い】

私たちの些細な行動で、環境を守ることにつながっていくと思い、ポスターでメッセージにしました。ゴミとなるものを使わないことも大切だけれど、リサイクルしたり、使い終わった後のものとの向き合い方を意識してもらえるようにしました。

【講評】越ちひろ 審査員

作品をみつめて、言葉の意味と絵の意味を考えさせられる深みのある作品です。パズルの色がとてもきれいで、一枚一枚のパズルを完成させることで、自然の大切さや一人一人の小さな力を感じることができると思わせる作品でした。

優秀賞

No.47(部門別 No.17)

丸山 姫優 (まるやま ひめか)さん

高山村立高山中学校 2年



【作品に込めた思い】

つつい袋を買ってしまう人に「未来の環境を守るためにマイバックがある」ということを知ってもらい、少しでも袋を買う人が少なくなればいいなと思って描きました。

【講評】齊藤明雄 審査員

圧倒的なインパクト、メッセージ性を持っているポスターです。環境問題というのは、難しい取り組みだとか、このままだと困ることになるという印象を持つことが多いけれど、このポスターに込められているのは、それを明るく乗り越えようという思い。行動経済学で、「ナッジ」(※)という言葉がありますが、楽しみながら大きな課題にチャレンジしていこうという強いメッセージ性を感じる作品です。

※「ナッジ」＝強制するのではなく、望ましい方向にそっと後押しする手法

協賛社賞

No.23(部門別 No.11)

降旗 凜音 (ふりはた りの)さん

安曇野市立豊科南中学校 1年



【作品に込めた思い】

海は緑っぽく見えるくらい汚くなっていること。海の生物はゴミを食べてしまうくらいゴミがあること。軽い気持ちで捨てたゴミも海などの生物や環境を汚していることに気付いてほしい。

入 選

No.6(部門別 No.4)

長谷川 稟(はせがわ りん)さん

上田市立第四中学校 1年



No.19(部門別 No.9)

池上 いおな(いけがわ いおな)さん

喬木村立喬木中学校 1年



No.4(部門別 No.2)

黒岩 優羽(くろいわ ゆうは)さん

御代田町立御代田中学校 2年



No.11(部門別 No.7)

名取 実日子(なとり みかこ)さん

原村立原中学校 3年



No.33(部門別 No.14)

横内 花帆(ようこうち かほ)さん

松本市立波田中学校 1年



No.22(部門別 No.10)

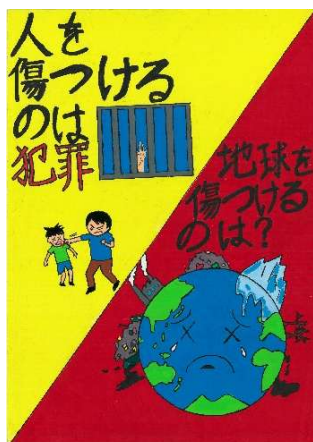
棚橋 柚花(たなはし ゆずか)さん

南木曾町立南木曾中学校 1年



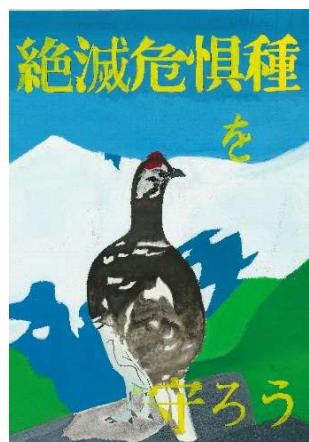
No.3(部門別 No.1)

小泉 琳太郎(こいずみ りんたろう)さん
佐久穂町立佐久穂中学校 1年



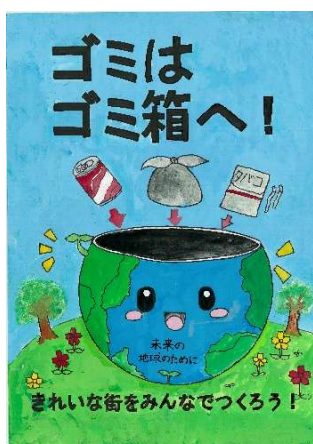
No.9(部門別 No.5)

サクラ ウファイラ(さくら うふあいら)さん
上田市立第四中学校 3年



No.35(部門別 No.16)

萩原 柚虹 (はぎわら ゆに)さん
松本市立波田中学校 1年



No.5(部門別 No.3)

花里 斎羅(はなざと ゆら)さん
御代田町立御代田中学校 2年



総評

作品のテーマも表現も、とても多様で楽しく拝見させていただきました。今回は、鳥や海の生き物や山の動物といった動物たちをテーマにした作品が多いのも印象的でした。ニュースなどを見ながら、子どもたちもいろいろなことを感じているのだと思います。ポスターを見ていると、子どもたちは、自分たちの身近な行動が、地球につながっていると訴えているように感じます。子どもたちからのメッセージをきちんと受け止めて、私たち大人も行動を見直さないといけないと感じました。地球温暖化の問題、マイクロプラスチックの問題、動物たちとの共生の問題、地球で起きている様々な問題がありますが、自分たちも一緒に勉強して考えていくという姿勢を、持ち続けてもらえたらと思います。

(上島史子 審査員長)

小学校低学年から中学生まで、一人一人が、一筆一筆大切に描いたことが感じられて、どれも素晴らしい作品だと思いました。選ぶのは大変でしたが、ポスターとしての言葉の強さ、絵の強さ、そしてその意味を深く考えさせてくれる作品を選びました。

(越ちひろ 審査員)